

2022 ECリーグの進め方(7月~)

2022.6.27 総務委員会

<ねらい>

- ◎現状の大会を維持しながら、勝敗にとらわれない試合を増やすことによって、選手が試合経験できる場を増やしていきたい。
- ◎チームの強弱に関係なく、多くのチームと交流を図る場としていきたい。

<リーグ分けについて> ※別紙【ブロック分け】を参照

- ◎リーグ戦のねらいを踏まえ、能力や勝敗などにかかわらずに分けることとし、年間を見通してできるだけ簡略化してブロック分けを決められるように配慮する。

7月~ 9月



- ☆前期リーグ(4月~7月)は、春季リーグの抽選番号を利用して機械的に割り振りする。
 - ☆後期リーグ(10月~2月)は、冬期間から雪解け時期にかかることから、移動の負担軽減を考えて地域別でブロック分けを行う。
- ※運営上の負担を軽減するため、男女ともに4ブロックにして行う。

<リーグ戦の運営について>

- ① 通常と同じ試合形式を基本とする。ただし、選手の起用や対戦のしかたについては、リーグ戦のねらいに基づいて、ブロック内や対戦相手の指導者と話し合う。
- ② ブロックリーダーを中心に日程を連絡・調整し、期間内にすべての対戦を行う。
※ブロックリーダーは前期抽選時に決定して総務委員会に報告する。(報告済み)
- ③ TOやモッパーなどは当該チーム同士で協力して行う。
※TO器材(デジタルタイマー、24秒計)の調整は競技委員長(谷本)まで。
- ④ 審判は当該チームの指導者、またはブロック内チームの協力を得ながら行う。
- ⑤ 試合終了後は、ブロックリーダーに結果を報告し、ブロックリーダーが広報委員長(阿部)に結果をメールで報告する。集約したものを事務局へ。 ※スコアシートは回収しない
- ⑥ リーグ戦の結果はHPに掲載していく。(他地区への発信)
- ⑦ **そのほか、新型コロナウイルス感染症を踏まえた運営にあたっては、以下の確認事項を十分踏まえて行うこととする。**

1 「日程が決まっている練習試合」とおさえる

- ・試合は、1日につき1試合を基本とする。(昼食をとらない、会場に長く居ない、密を避ける)
- ※ただし対戦相手が同じ場合は、1試合終了後、(日頃の練習試合と同じように)引き続き試合を続けてもよいものとする。
- ※また、ホームのチームが残り、対戦相手だけが入れ替わって2試合行うことも可能だが、その場合は、試合最中に別のチームがアップをしたり、ホームのチーム以外が会場内に待機し

たりすることは避け、会場内で複数のチームが交わることをないように配慮する。

(原則として学校体育館には試合を行う2チームしか入れません。)

※続けて2試合行う場合は、試合間を十分に空けて消毒等をしっかりと行い、途中で選手の健康状態も確認しながら進める。

- 基本的なルールや競技規則は通常通りですが、大会ではありませんので、ECリーグの趣旨(勝敗にこだわらず、選手の経験と交流を重視した試合)を踏まえ、ブロックや当該チーム同士で相談したり工夫したりして進める。

例) 選手交代を自由に認めて、選手の出場機会を増やす

下学年や控え選手同士で対戦するクォーターを設定する

ミニゲームの時間を増やす(U10の大会未実施を考慮して) など。

2 感染症対策を徹底し、最大限の配慮を行う

◎大会とは異なるため、各ブロックやチームに委ねる部分が多くなりますが、昨年度に実施した各大会や、日頃の練習試合と同様に感染症対策を徹底して行う

- 選手、指導者、保護者の健康状態をしっかりと確認する。体調不良の場合は無理をしない。
- 旭川市および周辺地域の感染状況も踏まえ、常に中止や延期の判断を視野に入れておく。
- 試合時間に合わせて入館し、試合が終わったら速やかに退館する。(控室は設けない)
- チームを入れ替えて行う場合も、試合前のアップはコートを使って行う。
(狭い場所でのアップは「密」状態になるため)
- TOやモッパーは当該チームから出し合って行う。
- 審判も当該チームから出し合って行うことを基本とする。難しい場合はブロック内で協力体制をとって行う。(ホイッスルカバー着用、電子ホイッスル使用などの感染対策)
- 個人チェックリストの提出は求めています。参加者名簿の作成・保管が必要です。
(練習試合と同じですが、新書式をHPに掲載してありますので活用してください。)
- チームの参加人数は、選手・指導者・保護者を含めて、原則40名以内とする。
(一般的な学校施設の体育館を使用すると考えた場合、上記の人数制限ですが、使用する施設の大きさによって多少の幅が生じることも考えられます。また、状況によっては入館する保護者をさらに減らして実施するなど、対策や工夫もブロック内で相談してください。)
- 消毒衛生にかかわる備品(消毒液、ペーパータオル、ハンドソープ)については、各チームで持ち寄って使用する。(部会の備品は配置できません)

3 学校施設に配慮した運営を心がける

◎今年度の大会運営は大型施設を基本としていますが、ECリーグでは主に学校施設を利用することになります。開故事業で体育館を借りていても、状況によっては他チームが出入りして使用することに懸念を示す場合もあります。大会ではありませんが、必ず学校長の許可を得たうえで学校施設を使用するようにしてください。(HBA「活動ガイドライン第3版」)

- 学校行事に配慮し、大きな行事の直前、直後に日程を組むことはできるだけ避ける。

例) 修学旅行、運動会、宿泊学習、学習発表会 など。